

会 議 議 事 録

					記録者 由利 毅
決 裁	教育長	教育部長	課長	課長補佐・GL	グループ員
件 名	令和4年度 第1回 龍ヶ崎市文化財保護審議会				
日 時	令和4年11月4日(金) 午後1時30分～午後2時20分				
場 所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室				
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課				
出席者	<b>【委 員】</b> 佐藤正好委員, 盛本昌広委員, 今橋浩一委員, 秋田光祥委員, 山本裕子委員, 松谷真一委員, 佐藤美季委員 <b>【事務局】</b> 大古教育長, 国松課長, 山西課長補佐, 油原課長補佐, 関主事, 記録者				
内 容	1 開 会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 会長／副会長選出 5 議 事 ・議案第1号 龍ヶ崎市指定有形文化財の指定について (認定候補物件:龍崎校木造扁額及び龍崎学校扁額) ・報告第1号 馬場台第2遺跡及び八幡作遺跡の発掘調査について 6 閉 会				
事務局 (由利)	(開会)				
事務局 (教育長)	(挨拶)				
事務局 (由利)	(委員の紹介) (事務局紹介) (会長・副会長の選出) 会長, 副会長は委員の皆様の互選となっておりますが, 候補者について事務局から推薦させていただきます。よろしいでしょうか。				
	(各委員「異議なし」)				
事務局 (由利)	それでは会長には久米原委員を, 副会長には今橋委員をと考えますが, いかがでしょうか。				
	(各委員「異議なし」) 会長に久米原委員, 副会長に今橋委員を選出した。				

	(会長不在により副会長が議長となり議事進行) (出席者7名により会議の成立を宣言)
	(議事録署名人として今橋委員, 秋田委員を指名) (各委員「異議なし」)
今橋	議事に入ります。 議案第1号 市指定有形文化財について, 候補物件の龍崎校木造扁額及び龍崎学校扁額について事務局から説明願います。
事務局 (由利)	資料に基づき説明
今橋	ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
佐藤	歴史民俗資料館にこの扁額が展示されていることを知りませんでした。龍ヶ崎にはこういう扁額とか書が多く残っていると思います。なぜ皇室の方に書いてもらうことになったのかはわかりませんが, 先日, 資料館で聞いたのですが作新学院にあるという嘉彰親王が書いた扁額とも書体が似ているのですか。
事務局 (由利)	栃木県の作新学院とは別の作新学校の扁額でしたが嘉彰親王が書いたものでした。ご質問のあったように, 嘉彰親王がこの扁額の書を書くに至った経緯を調べたのですがわかりませんでした。この方は小松宮親王とも呼ばれており, 全国各地の学校等で書を遺して扁額になっているものも多くあります。山口県で最初の高校や熊本県の高校, 静岡県三島市の神社などにもこの方がしたための書や扁額が残されています。
佐藤	この扁額はいいものだと思うのですが, 龍ヶ崎の小学校の扁額を皇室の方が書くに至ったのかということには気になるところです。寄贈された教員たちとの関係なのか, 何か縁があったのかなどとも想像されます。資料として後世に残すことに関しては問題ないですし, 指定文化財とすることにも賛同します。
秋田	指定文化財とすることで進めていいと思います。
松谷	1879年に書かれた扁額が状態よく残っていて, 皇室の方が書かれたということを踏まえると今後も大切に伝えていくべきものと考えます。市指定文化財として位置付けていただいて子供たちにも見せていきたい大切なものと考えます。
盛本	皇族が書いた経緯は知りたいところです。軍人が書いたものは多く残っていて, 嘉彰親王も軍人であったので関連があると思います。この二つの扁額はどのような形で保管されていたのですか。
事務局 (由利)	木造扁額は平成2年の資料館開設時から展示されていました。墨書の方は額装された状態で龍ヶ崎小学校の校長室か会議室に掛けてあったと聞いています。資料館で学校関係の企画展示があった際に持ち込まれ, それ以降, 収蔵・展示されています。額装されていてアクリル板で覆われている状態です。
盛本	両方とも印があるが, どのような意味を持つのか解明されていますか。
事務局 (由利)	印については概要説明にある通り, 木造扁額の方に一部欠落はあるものの, 右側の関防印と皇室の階位を表す左側の二品親王の印は写真で見てもわかるとおり, ぴったり重なることから同一のものだと判断しています。
盛本	木造扁額は周りの装飾も凝っているが誰が彫ったのかわかっていますか。

事務局 (由利)	木彫も含めて木造扁額の作者はわかっていません。
盛本	神社建築でもこのような装飾があるので、それなりの職人が製作したものではないかと想像されます。そのあたりも今後調査していくといいと思います。もちろんこの扁額自体は貴重なものだと思うので、今後も保存していくと良いと思います。
山本	扁額自体をじっくり見たことはなかったので、このような彫刻が通常されているものなのか気になっていました。この扁額は木造の校舎が取り壊されるときに保存されたものなのですか。
事務局 (由利)	資料館開設は平成2年ですが、その前年の平成元年に資料として教育委員会で保管したと伺っています。
教育長	木造校舎が取り壊されたのが平成元年ですので、その際に移管されたものと思います。
山本	平成元年まで小学校にあったのでしょうか。
教育長	そうです。当時、龍ヶ崎小学校に勤務していましたが、正面玄関に入って真正面に掲示されていました。
山本	他の委員さんと同様に、指定して保存することに賛成します。
佐藤美季	印が欠損しているのはいつからなのでしょう。
事務局 (由利)	資料館に収蔵されたときには一部欠損していた状態でした。関防印も含めて二つの扁額の印影が重なるので同一のものであると判断しています。
佐藤美季	ありがとうございました。他の委員と同じで指定することに賛成します。
今橋	木造扁額には嘉彰親王書とか二品親王の印があるが、墨書の方はその部分が切り取られたのか折られていて存在していません。どうなっているのか気になっています。
事務局 (由利)	資料館で撮影や調査をした際にも同じような話をしていましたが、折り返されてはいないので多分切り取られたものと考えています。
秋田	左右の余白が違うので多分切っていると思います。
事務局 (由利)	左右の余白の幅が違うことから切り取られたものと考えています。木造扁額は龍ヶ崎小学校の正面玄関に掲示してあったもので、教育長が平成元年に撮影した写真にも扁額が写っているのを確認しています。墨書についても学校に掲示されていた時点で額装されていたと聞いていますので、この状態であったと思われます。
教育長	想像の域ですが、龍崎学校と嘉彰親王書で朱印が押してあったものを扁額にするにあたって、額装に収まるように切り取られたのではないかと考えていました。切り取られた部分はどこにあるのかは興味深いところです。
盛本	学という字が墨書の方は略字ですが、当時の小学校では学の字は旧字を使っていたのではないのでしょうか。
事務局 (油原)	市民遺産の長興学校の扁額にある学の字は旧字体を使っています。当時は画数の多い学の字を使っている例が多いものと思います。
今橋	多くの意見、質問等ありがとうございました。他にご意見等がないようでしたら、龍崎校木造扁額及び龍崎学校扁額については、市指定有形文化財に指定するという事でよろしいでしょうか。

	(各委員「異議なし」)
今橋	それでは皆様からいただいた意見を事務局と相談の上で取りまとめ、教育委員会に答申したいと思いますが、ご一任いただけますでしょうか。
	(各委員「異議なし」)
今橋	続きまして報告に入ります。報告第1号 馬場台第2遺跡及び八幡作遺跡の発掘調査について事務局から説明願います。
事務局 (由利)	資料に基づき説明
今橋	ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
	(意見・質問 なし)
今橋	特にないようでしたら、本日の案件は終了になります。議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。
	令和4年11月 日4日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。  令和 年 月 日  議事録署名人  議事録署名人